

1/31 立春の草原を全力疾走



選手は施設敷地内をまわる1kmのコースをタスキリレーで10周しました。

第18回鷹島町リレーマラソン大会 上位結果

鷹島モンゴル公園で開催された本大会には、市内外から小学生の部に11チーム、中学生・一般の部に14チームの185人が参加。

上位の結果は次のとおりです。

【小学生の部】

- ①唐津 CFC ブラボー 31分50秒
- ②玄海 A チーム 32分37秒
- ③松浦 AC - A 32分39秒

【中学生・一般の部】

- ①松浦 AC - A 26分48秒
- ②玄海ブラック堀田チーム 28分26秒
- ③青嶺中 A 28分58秒

1/29 ~ 2/1 7年ぶりに姉妹都市マッケイ市を訪問！

第17回松浦市民親善訪問団派遣

松浦市民親善訪問団（団員13人）が1月29日から2月1日にかけて姉妹都市であるオーストラリア・マッケイ市を訪問。訪問団の同市への訪問は7年ぶりになります。

滞在中、一行は石炭ターミナル、マッケイ市役所、美術館、新施設「ノーザン・ビーチズ・コミュニティ・ハブ」および「マウンテンバイク・パンプトラック」を巡り、知見を深めました。

また、歓迎会、ホームビジットを通して市民との交流の輪を広げました。



1/31 ~ 2/1 新人選手のフレッシュな試合

第29回弥生杯小学生新人バレーボール大会

松浦市小学生バレーボール連盟が主催する同大会は、バレーボールを通じて児童相互の交流を広げ、技術の向上と試合に参加する喜びを体験してもらおうと開催されています。

当日は県内外から女子32チーム、混合24チームが参加。市内と鹿町町の7会場に分かれて1日目に予選、2日目に順位パート別の決勝が行われ、子どもたちは熱い声援に負けじと大きな声と積極的なプレーで熱戦を繰り広げました。



2/10 消防業務への熱い想いを発表

署内消防職員意見発表会



この発表会は消防職員の自覚と志気の高揚、資質の向上を目的に開催されており、今年も各所属の代表6人が職務に関する教訓や抱負、提案などを発表しました。

「そうだ 消防署、行こう」と題して、市民が消防署を身近に感じてもらうため、訓練見学などを自由にしたいと発表した廣嶋優久さんが最優秀賞に選ばれました。

廣嶋さんは4月10日に五島市において開催される第49回長崎県消防職員意見発表会に市代表として出場します。

2/13 正しい淹れ方でもっと美味しく

ながさきグリ茶研究会（寶持雅祥会長）



松浦高校でお茶の淹れ方教室が開かれ、3年生49人が参加しました。

この取り組みは、佐世保市・松浦市・佐々町のお茶の若手生産者5人で構成される同会が、次世代にお茶を飲む習慣を受け継いでほしいとの思いから、近隣の高校生を対象に開催しているものです。

生徒は、お茶の知識を深め、実際にお茶を淹れて茶葉やお湯の量、浸出時間などで味が変わることを体験。地域の特産品であるお茶の魅力を変えて知る機会となりました。

2/15 市民約170人が舞台で発表

松浦市民文化祭（舞台発表）



市民が日頃の文化芸術活動の成果を披露するとともに、文化芸術と身近に触れ合える場として毎年開催されている市民文化祭。今年には市内各地域で活躍するコーラス、箏曲、舞踊、詩吟、ダンス、楽器演奏など、初出場2団体を含む18団体が出演しました。

観覧者が見守る中、この日のために練習を重ねた美しい歌声、舞、踊りや演奏などが披露され、発表が終わると会場内は拍手で包まれました。